

【現場レポート】

みなくちさい

“配水の安全と豊潤を祈願” 第39回香川用水水口祭



～ 農業農村整備事業をPR ～



<四国土地改良調査管理事務所>

令和5年6月11日（日）、先人の遺徳を称えとともに配水の安全と豊潤を祈願する『香川用水水口祭』が、香川県三豊市財田町の香川用水記念公園（東西分水工）で香川用水土地改良区の主催により開催されました。

讃岐平野では昔から苗代田の「水口」（みなくち：田に水を引き入れる口）に御札を立てお供えをし、水への感謝と祈りを捧げる風習がありました。これにちなみ、早明浦ダムの水が吉野川から阿讃導水トンネルを経て、香川県に最初に姿を見せる香川用水東西分水工を「水口」に見たて、「水口祭」を斎行しています。

当日は、香川県知事ほか、関係する市町的首長と土地改良区理事長等とともに、中国四国農政局からも香川用水二期農業水利事業所長、四国土地改良調査管理事務所長が神事に参列し、玉串を奉納し配水の安全と豊潤を祈願した後、御神酒をトンネルの出口に注ぐと、噴水が約5mほどの高さに吹き上がりました。

その後、地元保存会による財田鍬踊り、財田町長野獅子による獅子舞、大野原靄王（りゅうおう）太鼓や綾子踊の奉納のほか、うどんの接待もあり大勢の人で賑わいました。

四国土地改良調査管理事務所では、水資源機構香川用水管理所と連携して、香川用水と農業との関わり、農業・農村のめぐみ（多面的機能）及び改修工事の状況等についてパネルで紹介するとともに、各種パンフレットや手作りの下敷きなどを配布し、農業農村整備事業のPR活動を行いました。



御神酒
奉灌



財田
鍬踊り



財田町
長野獅子



大野原
靄王太鼓



綾子踊



事業PRの様子。
すごく盛り上がっていて楽しそう！

